

芸 術	
音 楽	美 術
1 この教科のねらい	
- 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に興味・関心を持ち、意欲的に活動する態度を身に付けます。 - 音楽理論を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育てます。	- 美術を愛好する心情を高め、個性的な表現への意欲や能力を一層高めることをねらいとします。 - 創造的に表現する活動を通して、美的体験を愛好する心情・感性・能力を育てます。
2 科目の紹介と学習内容	
「音楽Ⅰ」 - 歌唱・器楽・創作・鑑賞・楽典を通して基礎力を身に付け、様々な表現活動を学びます。 「音楽Ⅱ」 - 歌唱・器楽・創作・鑑賞・楽典を通して音楽に関する理解を深め、創造的な表現力を磨きます。 「器楽」 - 器楽の演奏に関する知識や技術を習得し、発表会に向けた活動を通して、表現力を高めるとともに、積極性や協調性を学びます。 「音楽探究」 - 音楽的な見方や考え方を働かせ、音楽性豊かな楽曲の構成について考え、表現の可能性を追究します。	「美術Ⅰ」 - デザイン・色彩構成・絵画・版画・鑑賞と多様な表現活動を行います。 「美術Ⅱ」 - デザイン・彫塑・鑑賞と多様で、創造的な表現を追究します。 「素描」 - 鉛筆や木炭など多様な素描の材料を使用して、対象物を観察しそれぞれの特性を生かした表現を追究します。 「美術探究」 - 美術年表ごとに作品鑑賞をし、絵画技法を学びそこから感じ取った美意識を作品として表現します。
3 授業の特色	
歌唱・器楽・鑑賞・創作の各分野において、一人一人の個性を大切に活動し、音楽を愛好する心情を育て豊かな感性を養います。	描写力、色彩感覚、豊かな創造力、生涯にわたり美術を楽しむ続けるための基礎を養う学習を行います。
4 勉強方法	
- 音楽の基礎知識や音楽史については、教科書やワークシートなどで勉強します。 - 器楽での楽器の練習は、日々の活動で行います。	日常生活の中で、全てのものに関心を示し、観察することが大事です。美術を鑑賞する楽しさを味わいましょう。
5 評価の観点	
【知識・技能】 実技テスト、小テスト、ワークシート 【思考・判断・表現】 実技テスト、小テスト、ワークシート、授業中の活動状況 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、ワークシート、授業中の活動状況	【知識・技能】 課題作品提出、自己評価 【思考・判断・表現】 授業への参加姿勢、課題作品提出 【主体的に学習に取り組む態度】 課題作品提出、授業中の態度、参加状況